

平成 18 年 2 月 15 日

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ

平成 18 年 3 月期 通期連結決算業績予想および期末配当予想の修正について

平成 18 年 3 月期通期連結決算の前回業績予想について、貸倒引当金戻入益の増加等を主因として、以下のとおり修正します（旧三菱東京フィナンシャル・グループ連結（4～9 月実績）と三菱 UFJ フィナンシャル・グループ連結（10～12 月実績、1～3 月予想）の合算値）。

また、かかる業績予想等を踏まえて、平成 18 年 3 月期における普通株式の期末配当予想について、以下のとおり修正します。なお、平成 18 年 3 月期における各種優先株式の期末配当予想については、前回公表から変更はありません。

（旧 UFJ ホールディングス連結（4～9 月実績）との合算については、別添の「三菱 UFJ フィナンシャル・グループと旧 UFJ ホールディングス合算の平成 18 年 3 月期通期連結決算業績予想について」をご参照ください）

平成 18 年 3 月期 通期連結決算業績予想

(単位：億円)	前回予想*	今回修正		
			増減額	増減率
連結経常収益	40,850	40,850	—	—
連結経常利益	9,900	10,650	+750	7.5%
連結当期利益	5,200	7,600	+2,400	46.1%

*平成 17 年 11 月 24 日の公表数値

平成 18 年 3 月期 普通株式一株当たり配当金

	中間配当金	期末配当金	年間配当金
	(実績)	(予想)	(予想)
前回予想*	3,000 円	3,000 円	6,000 円
今回修正	3,000 円	4,000 円	7,000 円

*平成 17 年 11 月 24 日の公表数値

以上

本資料には、当社又は当社グループの業績、財政状態に関する予想、見通し等の将来に関する記述が含まれています。かかる記述は、現時点における予測、認識、評価等を基礎として記述されています。また、将来の予想、見通し等を作成するためには、一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし前提（仮定）は、その性質上、将来その通りに実現するという保証はなく、客観的には不正確であったり、実際の結果と大きく乖離する可能性があります。そのような事態の原因となりうる不確実性やリスク要因は多数あります。その内、現時点において想定し得る主な事項については、最新の決算短信、有価証券報告書、ディスクロージャー誌、Annual Report をはじめとした当社の公表済の各種資料をご参照下さい。

(ご 参 考)

三菱UFJフィナンシャル・グループと旧UFJホールディングス合算の
平成18年3月期 通期連結決算業績予想について

三菱UFJフィナンシャル・グループと旧UFJホールディングスを合算した平成18年3月期通期連結決算業績予想は、以下のとおりです（旧三菱東京フィナンシャル・グループ連結（4～9月実績）と旧UFJホールディングス連結（4～9月実績）、三菱UFJフィナンシャル・グループ連結（10～12月実績、1～3月予想）の合算値）。

平成18年3月期連結経常利益は、平成17年11月公表の予想を750億円上回る14,200億円、連結当期利益は、同予想を2,400億円上回る11,700億円を見込んでいます。

持株会社連結

(単位:億円)	三菱UFJフィナンシャル・グループ+旧UFJホールディングス					
			三菱東京UFJ銀行 + 旧UFJ銀行		三菱UFJ信託銀行 + 旧UFJ信託銀行	
		11月予想(*)		11月予想(*)		11月予想(*)
連結経常利益	14,200	13,450	11,350	11,000	2,250	1,900
連結当期利益	11,700	9,300	10,250	8,050	1,350	1,050

グループ銀行単体合算

(単位:億円)	合 算		三菱東京UFJ銀行 + 旧UFJ銀行		三菱UFJ信託銀行 + 旧UFJ信託銀行	
		11月予想(*)	(単体+分離子会社)	11月予想(*)	(単体+分離子会社)	11月予想(*)
実質業務純益	12,300	12,300	10,000	10,000	2,300	2,300
経常利益	10,550	9,800	8,400	8,000	2,150	1,800
当期利益	11,500	8,500	10,100	7,400	1,400	1,100

* 平成17年11月24日公表。

- 実質業務純益（グループ銀行単体合算）は、平成17年11月公表の予想から変更ありません。
- 連結経常利益の増加は、与信関係費用（臨時損益）の減少が主な要因です。
- 連結経常利益の修正額に比べ連結当期純利益の修正額が大きいのは、貸倒引当金戻入益（特別損益）が増加したことが主因です。
- 与信関係費用（臨時損益）と貸倒引当金戻入益（特別損益）を合計した与信関係費用総額は、戻入益となることを見込んでいますが、当初想定していた戻入益よりも拡大するものと考えています。

以 上